

スペインと日本の架け橋を目指して 「Teconmie」の 魅力を日本中に発信

グランジャポン

グランジャポン（横浜市青葉区あざみ野南、星野マチ子社長、045・910・0108）は、星野社長がスペイン留学時代にスーパーマーケットで偶然出会い、はちみつのやさしい甘味と香りに衝撃を受けた紅茶「Teconmie」を日本に広めるために設立し、現在は、「Teconmie」だけでなく、スペインでつくられたパエリアやオリブオイル等の商品を中心に取扱う卸売業者である。

創業当時は、日本とスペインの考え方やライフスタイルの違いに苦労することも多かったが、「相手の立場に立って物事を考えること」を重視して、さまざまな取組みを行ってきた結果、今では地域にスペインの最新情報と魅力を届ける重要な存在になりつつある。

また、最近では、地域の方々になたなコミュニケーションの場を提供したいとの思いからカルチャーサロンをスタートさせ、講座やイベント



取扱っている商品

が好評を得ており、その中でも、主婦の方々が自らつくった雑貨やお菓子を販売するイベントは特に人気がある。「今後もさまざまなイベントを通じて地域の人たちを結び機会を提供し、地域とのつながりを深めていきたい」と語る星野社長。

同社は、今まで培ってきたノウハウと、スペインのことなら何を聞かれても答えられると胸を張る星野社長のネットワークを活用しながら、スペインと日本の企業をつなぐ架け橋となっていきたいと考えている。

同社の商品は、ホームページでの通信販売で購入できるのももちろん、輸入生活雑貨を中心に販売している「PLAZA」でも取扱っている。興味のある方は是非一度購入してみたいかが。

詳しくはホームページにて

<http://granjapon.co.jp/>

